

山口情報芸術センター[YCAM] 2020年度事業ラインナップ

YCAMの17年目が始動！ 多種多様なイベントから「世界」を見つめ直す

山口情報芸術センター [YCAM] では、2003年の開館以来、メディアテクノロジーを軸とした新しい表現の探求を目指し、展覧会や公演、ワークショップや映画上映など、幅広いアプローチで山口から世界に向けて発信してまいりました。

開館から17年となる2020年度も、研究開発プロジェクトを軸にアーティストや市民、各分野の専門家とコラボレーションをおこない、作品制作やワークショップ開発などを推進。とりわけ国民的なイベントであるオリンピックが開催される大きな節目となる今年度は、改めて戦後の美術史や科学技術史を含む歴史を振り返ったうえで、歴史と芸術表現、または市民社会とアートセンターとの関係性を捉える事業を展開していきます。

秋にはシンガポールを代表するアーティストのホー・ツーニエンを迎えた大規模な展覧会を開催するほか、冬にはアメリカを拠点に活動するアーティストのカイル・マクドナルドとともに開発するワークショップなども実施します。

これらのイベントを通じて、「ともに作り、ともに学ぶ」という活動理念の実現を目指すとともに、次世代を担う人材の育成を進めていきます。この機会にぜひご参加ください。

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ 山口情報芸術センター [YCAM]
TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 メールアドレス: press@ycam.jp
〒753-0075 山口県山口市中国町7-7 <http://www.ycam.jp>
取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。



山並みの屋根が特徴的なYCAMの外観（撮影：勝村祐紀）

■ ホー・ツーニエン新作展

11月14日(土)～2021年2月14日(日)



参考写真：ホー・ツーニエン《旅館アポリア》(2019年)
photographs by Takeshi Hirabayashi
courtesy of Artist, Aichi Triennale and Edouard Malingue Gallery

「アジア」を捉え直す

シンガポールを代表するアーティスト、ホー・ツーニエンによる新作を発表する展覧会です。

映像やインスタレーション、舞台作品を中心に活動してきたホー・ツーニエンと、これまで美術、舞台芸術、映画といった分野で知見を培ってきたYCAM、そして、日本のアニメーターなどがコラボレーションし、新作VRアニメーション作品を制作。劇場スペースとして用いられるスタジオAを会場に発表します。作品では西田幾多郎が基礎を築いた西洋哲学研究の学派である「京都学派」を取り上げ、「アジア」を捉え直します。

YCAM スポーツハッカソン 2020

5月3日(日)～5日(火・祝)



「YCAMスポーツハッカソン2019」
撮影：田邊アツシ

「デベロップレイ」で運動会をハックせよ

メディア・テクノロジーを駆使して新しいスポーツのアイデアを実現する、3日間のスポーツクリエイション合宿です。

このイベントでは、開発（デベロップ）と実践（プレイ）を繰り返す「デベロップレイ」と呼ばれる制作手法を中心に、運動会競技を開発します。競技の開発に使用するツールは運動会でおなじみのもののほかに、YCAMが開発したハイテクなツールも登場。まだ見ぬ運動会競技を生み出し、最終日には開発した競技を楽しむ運動会「未来の山口の運動会」を開催します。

第5回 未来の山口の運動会

5月5日(火・祝)



「第4回 未来の山口の運動会」
撮影：谷康弘

全種目が世界初実施の超・最先端の運動会！

「YCAMスポーツハッカソン2020」で生み出されたスポーツを体験する運動会形式のイベントです。

5回目の開催となる今回も、さまざまなメディア・テクノロジーやアイデアが詰め込まれた「未来の運動会」の種目が多数登場。参加者はチームに分かれ、勝敗を競っていきます。大人も子どもも、お年寄りも、学校や地域でおこなわれる運動会とは一味違う「未来の運動会」で、白熱したひとときを過ごします。

鎖国 [Walled Garden] プロジェクト： ワークショップ&トーク

イベント

2021年2月6日(土)、7日(日)



参考図版：ローレン・マッカーシー+カイル・マクドナルド《Social Soul》

インターネットが映し出すあなたの姿

未来の世界でのコミュニケーションのあり方をテーマとしたワークショップとトークイベントです。参加者の体験をもとに作品を創作することを目指す、アーティストのカイル・マクドナルドとYCAMの共同研究開発プロジェクト「鎖国プロジェクト [Walled Garden]」の一環として実施します。

ワークショップでは、オンライン・コミュニケーションが成熟するにつれ健在化してきたフェイクニュースの流布や、個人情報の流出といった身近なトピックを切り口にゲーム型のアクティビティをおこないます。またトークイベントでは、研究者なども招聘し20年後の世界に必要なプラットフォームや方策についてディスカッションをおこないます。

YCAM performance lounge #7

搬入プロジェクト 山口・中園町計画

イベント

7月25日(土)



参考図版：京都市立芸術大学での実験の様子
撮影：吉見峻

巨大物体をYCAMに搬入せよ

世界各地でおこなわれたイベントが山口に上陸！

現在生まれつつある新しい身体表現の魅力をダイレクトに伝えるシリーズ企画「YCAM performance lounge (パフォーマンス・ラウンジ)」の第7弾です。パフォーマンス集団・悪魔のしるしの代表的な演劇プロジェクトのひとつ《搬入プロジェクト》を実施します。

本作は、建物内にかかるうじて入る大きさ・形状に設計された巨大な物体を、人力で館内に搬入する様子を演劇として提示する作品で、これまでに世界各国の20箇所以上で実施されてきました。劇団主宰者である危口統之の死去後、本作はパブリックドメイン化しており、今回実施するのはYCAMがアレンジしたものとなります。

搬入後は、搬入した物体のほか、制作過程などをまとめた資料を館内ホワイエにて展示します。

テアトロ・デ・オカシオン 親子向け公演

公演

アナのはじめての冒険

5月10日(日)



巧みなパフォーマンスに大人も子供も思わず夢中に

チリを拠点に活動する劇団のテアトロ・デ・オカシオンによる、大人も子どもも楽しめる演劇作品を上演する公演です。

元気いっぱいの女の子・アナの冒険を描いた、世界中で愛されるテアトロ・デ・オカシオンの人気作品。3人の出演者が演奏するギターやクラリネット、そしてパーカッションが紡ぐラテン音楽とともにお届けします。国や言葉を超えて心に届くパフォーマンスが、観客を音楽と歌で彩られた色彩豊かな演劇の旅へと連れ出します。

近藤芳正 Solo Work

公演

ナイフ

6月13日(土)



近藤芳正の新作公演を山口初上演！

ドラマ、舞台と幅広い分野で活躍している俳優としても、またプロデュースや演出も手掛ける近藤芳正のひとり芝居を上演する公演です。

作家・重松清の坪田譲治文学賞を受賞した小説『ナイフ』を原作に、父親や、その妻子、学校の先生などの多数の登場人物を全て近藤芳正が一人で演じます。登場人物たちの拙くも必死な日常を描いた物語と一人の役者がひたむきに演じる姿が重なり合う、これまで誰も体験したことのないひとり芝居《ナイフ》を山口で初上演です。

カンパニーデラシネラ 演劇公演

公演

ドン・キホーテ

9月25日(金)～26日(土)



「演劇×ダンス」が魅せるドン・キホーテ

パントマイム出身で演出家の小野寺修二が主宰するカンパニーデラシネラの演劇作品を上演する公演です。身体性に富んだ舞台作品を数多く発表するカンパニーデラシネラが、スペインの作家・ミゲル・デ・セルバンテスによる小説『ドン・キホーテ』を舞台化。演劇とダンスが巧みに交わる作品に仕上げました。本作ではパフォーマーだけでなく、プロダクトデザイナーの石黒猛による電動で動き出す様々な小道具たちも登場することで、空想と現実が入り乱れていき、観る者を非日常の空間へと誘います。

リミニ・プロトコル 演劇公演

公演

Uncanny Valley / 不気味の谷

11月28日(土)～29日(日)



© Gabriela Neeb

ロボットとは？人間とは？

ベルリンを拠点に活動するプロジェクト型のユニット、リミニ・プロトコルによる演劇公演です。常に新しい演劇的手法で世界に切り込み、高い評価を得るリミニ・プロトコル。本作は現代ドイツにおける最も重要な作家の一人ともいわれるトーマス・メレが制作に参加しています。舞台上にはメレの似姿であるロボットが登場し、メレ自身について語りはじめます。ロボットを通じてそのオリジナルである作家は何を発見するのでしょうか。ロボットと人間の関係性に新しい視点を投げかける舞台作品です。

sound tectonics #24

Mystic Rhythm

イベント

9月5日(土)



参考図版：「sound tectonics #22」(2018年)
撮影：谷康弘

伝統と革新の交錯から生まれる新しい音楽表現

国内外の最先端のサウンド・アート、音楽表現を紹介するライブコンサートシリーズ「sound tectonics (サウンド・テクトニクス)」の第24弾です。

今回は現代的なオーディオ・テクノロジーと、伝統的なサウンドとの間の可能性をテーマに、Senyawa (スニャワ) と西原鶴真の2組によるライブ・コンサートを開催します。Senyawaはインドネシアの音楽的かつ民俗的な伝統からの影響を受けた実験音楽を展開しており、西原は実験的なノイズと薩摩琵琶の伝統を兼ね備えたスタイルで知られています。いわば「文化的混合物」とも言えるミュージシャンたちの交差は観客にユニークな体験をもたらすでしょう。

YCAM 爆音映画祭 2020

8月28日(金)～30日(日)



2016年に開催した「YCAM 爆音映画祭2016」でのライブパフォーマンスの様子

日本最強の爆音映画祭、今年も出現！

繊細な大音響で映画を体感することで、これまでにない映画体験を創造する上映イベントです。

「爆音映画祭」とは、映画批評家の樋口泰人が国内外で開催している上映イベントで、ライブ・コンサート向けの大規模かつ高品質なスピーカーを用いて映画を鑑賞するものです。YCAMでは2013年から毎年開催しており、国内でも最高レベルの音響環境と言われるスタジオAを会場に、毎年工夫に溢れたセッティングで上映をおこなうことから、ファンからは「日本最強」と謳われています。YCAMが誇る充実の音響環境を十全に使い、今回も往年の名作から話題の新作まで、幅広いラインナップを爆音でお届けします。

YCAM 爆音映画祭 2021：特別編

2021年2月

小規模ながら密度のある、特別なYCAM 爆音映画祭

ミニシアター型のスタジオCにスピーカーを増量設置して実施する「YCAM 爆音映画祭」です。2018年から「YCAM 爆音映画祭」と並行して開催しています。小規模だからこそできる音響機器のセッティングで、その環境にあった作品を多数上映します。

真夏の夜の星空上映会

8月7日(金)～9日(日)



「真夏の夜の星空上映会」(2017)
撮影：山中慎太郎 (Qsyum!)

YCAM夏の風物詩、今年も開催！

隣接する中央公園で開催する毎年恒例の野外上映イベントです。

涼しい夜空の下で、お友だちやご家族と映画をお楽しみいただけます。今年も幅広いみなさまに楽しんでいただける作品の上映をおこなうほか、2020年3月に開催した「はじめての映画制作ワークショップ」で生まれた山口の中高生たちの映画の上映も予定しています。

YCAM シネマ

木～日曜日、祝日を中心に開催



ゲストを招いてのトークイベントの様子(2017年)
撮影：谷 康弘

古典から最新作まで幅広く上映

国内外の優れた映画作品を紹介する上映会を週末を中心に開催しています。映画をきっかけにメディア・テクノロジーを用いた表現のエッセンスの一端に触れられるよう、今年も古典から最新作まで幅広い時代の、さまざまなジャンルの映画の上映をおこないます。

また上映に合わせて、監督や出演者らのトークイベントも随時開催予定です。